

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	14	課題区分	C	令和8年2月20日	
横断的な課題		諏訪湖創生ビジョンの推進						
地域重点政策		諏訪湖創生ビジョンの推進						
実施機関		諏訪農業農村支援センター			担当課	所属	農業振興係	
事業名		諏訪湖魚食性鳥類対策推進事業				電話	0266-57-2913(内線2363)	
						E-mail	suwa-nosei@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	地域の関係機関と連携し、魚食性鳥類による食害被害に対する対策の検討や、実証試験の実施及び効果検証をすることで、漁業の振興という諏訪湖創生ビジョンの課題の解決を推進する。						
	現状と課題	令和5年度にWGを立ち上げ、外部識者を含め関係機関・団体と漁業振興策について協議を進めてきた。令和6年度開催のWGでは、漁業関係者、観光関係者から、カワウなどの魚食性鳥類による食害被害が、漁業だけでなく観光資源(ワカサギ釣り)としても課題となっているとの意見がだされた。これを踏まえ、魚食性鳥類の被害対策について検討する必要がある。						
	内容 (変更後の内容)	【ワーキンググループの開催】 魚食性鳥類による被害対策に焦点をあて、どのような対策が考えられ、それらに対する課題解決方法などを検討する。 期 日 令和7年12月1日 場 所 諏訪合同庁舎 参集者 諏訪湖創生ビジョン推進会議構成メンバー(30人程度)、外部識者(1人) 等 【カワウ忌避バンドの効果検証】 魚食性鳥類効果的な追い払いの実証試験として、カワウ忌避バンドの活用方法を関係機関(水産試験場諏訪支場、諏訪湖漁協、信州大学)と検証する。 期 間 7月～2月 実施内容 下諏訪町の消波堤の1箇所で、水面に忌避バンド敷設する。定点カメラを1～2ヶ所設置し、カワウの飛来状況を確認する。忌避バンド設置前(～6月)と設置後(7月～)のカワウの飛来数等を比較し、追い払い効果を検証する。						
		事業期間 令和7年7月 ～ 令和8年2月						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考	
	WGの開催		外部識者への謝金		19,350		講師謝金: @6,450円 × 3h	
	カワウ追い払い実証		カワウ忌避バンドの設置 WG資料の印刷		39,860		忌避バンド: @5,000円 × 5本=25,000円 設置用器具(テグス、針金等): 10,000円 WG資料印刷経費: 4,860円	
合 計				59,210				
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況
	魚食性鳥類の被害軽減策の提案			1件以上		1件		● 達成
	実証区における魚食性鳥類の飛来数(設置前を100%とした場合)			30%		0%		○ 一部達成
								○ 未達成
事業実績・成果	【WGの開催】 諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員に外部識者(県内水面漁場管理委員長))を交えた24名でWGを開催し、魚食性鳥類対策のテーマについて、魚食性鳥類の飛来状況(増加傾向にある)を参加者全員で確認・共有した。そのうえで、新たな追い払い方法として、ドローンを活用したレーザー照射による追い払いの提案を得ることができ、参加者で意見交換を行った。 【カワウ忌避バンド効果検証】 水産試験場諏訪支場と連携し、効果検証を実施した。諏訪市豊田沖については、現場の状況からバンドの設置が難しいことが判明し検証が困難だったため、下諏訪町沖の消波堤の1箇所で効果の検証を行った。バンド設置前は恒常的に27～8羽程度のカワウの飛来が認められていたが、バンドの設置期間中は、寄り付かなかったため一定の効果があったものと推定される。 ただし、カワウは警戒心が強いので、忌避バンドによる効果なのか、警戒心から近づいていないだけなのか引き続き検証する必要がある。							
	今後の方向性 WGでのディスカッションは、対策の検討内容の精度をあげるためにも外部識者を招へいする形で継続していく。 カワウ忌避バンドについては効果を見極めるため、湖面での効果的な設置方法について水産試験場と引き続き連携して取り組む。							